

行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	(独)海技教育機構施設整備費補助金		事業開始年度	平成18年度		作成責任者
担当部局庁	海事局		担当課室	海技課船員教育室		室長 金田章治
会計区分	一般会計		上位政策	海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人海技教育機構法)		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	船員(船員であった者及び船員になろうとする者を含む。以下同じ。)に対する船舶の運航に関する学術及び技能の教授、船舶の運航に関する高度の学術及び技能に関する研究、並びにこれらに附帯する業務等を効率的に行うために必要な施設・設備の整備を行っている。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国立清水海上技術短期大学の技業棟は、築後40年が経過し老朽化が進み、電気容量、室内強度も十分でなく、大型の教材、特に電子機器を組み入れた最新の教材が導入出来ない等多数の問題点があったため、総合実習棟として建て替えるべく工事を進めてきている。					
実施状況	平成21年度までの工事が着実に実施されている。			年度別工事概要		予算
				平成20年度分(設計・建築工事等)		107
				平成21年度分(建築工事・電気設備工事等)		71
				平成22年度分(建築工事・電気設備工事等)		112
			計		290	
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	0	107	71	112	112
	執行額	0	104	74		
	執行率	0.0%	97.2%	※ 104.2%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	施設整備費補助金事業については、中部地方整備局へ業務委託を行っている。事業執行においては、工事の進捗状況、工務監督及び完成検査等に立ち会い、適合性を確認している。				
	見直しの余地	平成22年度の予算執行にあたっては、引き続き工事の実施状況等の管理・監督を適切に行い、効果的な予算の執行に努めることとする。				
予算・監視の効率化	【一部改善】 効果的な予算執行の観点から、工事の実施状況等の管理・監督を適切に行うべき。					
補記	※平成21年度については、前年度からの繰越3百万円が含まれるため、執行率が100%を超えている。					
	[予算科目] 075 独立行政法人海技教育機構施設整備費 95 独立行政法人海技教育機構施設整備に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) 95063 - 1305 - 16 独立行政法人海技教育機構施設整備費補助金 74 百万円 74 百万円					

国土交通省
74百万円
(前年度繰越額3百万円含む)

航行の安全確保・海洋環境の保護を図るため、国際基準を満たす優秀な船舶職員の養成及び再教育を行うために必要な施設・設備の整備の補助

【交付】

A. (独)海技教育機構
74百万円

航行の安全確保・海洋環境の保護を図るため、国際基準を満たす優秀な船舶職員の養成及び再教育を行うために必要な施設・設備の整備

【業務委託】

B. 中部地方整備局
1百万円

・国の行う事業及び補助事業関係業務
・建設業の許可・監督関係業務

【一般競争入札】

C. 民間建築業者(3社)
73百万円

・建物の建築・修繕の実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように
 記載)

A.(独)海技教育機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	清水海上技術短期大学校総合実習棟建設工事	74			
計		74	計		0
B.国土交通省中部地方整備局			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
管理費	事務費	1			
計		1	計		0
C.木内建設(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	建設費	69			
計		69	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

